

各病院の主な取組み

各センターにおいては、次のとおり、府立の病院としての役割を果たすための取組みや、医療課題に適切に対応するための診療機能の充実に取り組みました。

<令和6年度の取組み>

◆ 大阪急性期・総合医療センター

- 基幹災害拠点病院として、自然災害ならびにシステム障害を想定したBCPの検証・改定を複数回実施したほか、院内感染防止対策体制の構築や新興感染症に対応したBCPの策定など、災害対策の強化
- 基幹災害拠点病院及び大阪府災害医療コントロールセンターとして、大阪・関西万博における災害対策の企画及び立案を公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会とともに推進し、多数傷病者対応研修の実施や多数傷病者対応マニュアルの策定など、開催に向けた体制整備に貢献
- 高度救命救急センターとして大阪府南部救急医療体制の確保・充実
(救急車搬入患者数: 令和6年度 8,401 人[令和5年度 8,104 人])
- がん医療の質及びがん患者の QOL(生活の質)向上を目指した手術支援ロボット手術の推進
(手術支援ロボット手術件数: 令和6年度 414 件 [令和5年度 392 件])
- 生殖医療センターにおいて、公的病院として民間病院では実施できない生殖医療(合併症対応、人材教育等)の推進
(生殖補助医療(ART)実施件数 : 令和6年度 129 件 [令和5年度 161 件])
(生殖補助医療(ART)に係る妊娠数: 令和6年度 52 件 [令和5年度 44 件])
- 大阪府市共同 住吉母子医療センターにおいて、院内の連携強化による高度医療の実施及び周産期医療の充実
(分娩件数: 令和6年度 1,152 件 [令和5年度 1,130 件])
(うち無痛分娩件数: 令和6年度 150 件 [令和5年度 124 件])

◆ 大阪はびきの医療センター

- 大阪府アレルギー拠点病院として、総合的なアレルギー疾患対策の実施
(成人重症食物アレルギー患者数: 令和6年度 70 件 [令和5年度 66 件])
- より患者の身体的負担の少ない低侵襲なロボット支援手術の実施
(令和6年度 83 件 [令和5年度 71 件])
- 南河内地域における最多分娩実施機関として、985 件の分娩に対応 [令和5年度 957 件]
- 救急患者の受入れを拡大
(救急搬送受入件数(小児救急搬送除く): 令和6年度 2,010 件 [令和5年度 1,935 件])
- 地域医療支援病院として地域医療連携を強化
(紹介率: 令和6年度 89.5 % [令和5年度 89.0%])・(逆紹介率: 令和6年度 119.3 % [令和5年度 115.0%])

◆ 大阪精神医療センター

- 府内の基幹精神科病院として、措置入院等の受入を実施
(措置入院等: 令和6年度 53 件 [令和5年度 62 件])
- 大阪府の発達障がい診療拠点医療機関として、発達障がい精神科医師養成研修等の実施による府内診療体制の充実
- 依存症治療・研究センターにおいて、薬物・アルコール・ギャンブルの依存症に対する治療プログラムの運用及び効果検証
- 多職種での訪問看護の実施
(訪問看護実施件数: 令和6年度 5,765 件 [令和5年度 5,417 件])

◆ 大阪国際がんセンター

- がんゲノム医療拠点病院として、がんゲノム医療を推進
- 難治がん・高度進行がん・希少がんをはじめとするがん患者への最適な集学的治療の実施
(手術実施件数: 令和6年度 4,269 件 [令和5年度 4,296 件])
- 患者一人一人の症例に最適な治療法の選択や低侵襲ながん手術の実施
(手術支援ロボット(ダヴィンチ)手術件数: 令和6年度 720 件 [令和5年度 525 件])
(ESD 内視鏡的粘膜下層剥離術・EMR 内視鏡的粘膜切除術: 令和6年度 2,351 件 [令和5年度 2,166 件])

◆ 大阪母子医療センター

- 総合周産期母子医療センターとして高度かつ安定的な周産期医療を提供
(分娩件数: 令和6年度 1,924 件 [令和5年度 1,899 件])
- 新生児・小児に対する高度専門医療および救急を含む幅広い小児疾患に対する医療の提供
(手術実施件数: 令和6年度 3,968 件[令和5年度 3,889 件])
(新生児を含む1歳未満児に対する外科手術: 令和6年度 571 件[令和5年度 586 件])
- 研究所において、原因不明の先天性等新生児・小児疾患に対しての系統的な診断・解析の実施